

プロジェクト報告書

団体名 特定非営利活動法人

国立市動物調査会

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

「ママ下湧水」環境調査と生物観察会 ～湧水の自然を守ろう～

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

今回の環境調査・生物観察会には市民が自主的に参加し共同して湧水を観察することで、地域の水辺や緑地、近隣の農地である畑や田んぼ、雑木林がいかにより多くの生物の育成・生息の場となっているかを体感し、地域環境や近郊農業に対する認識を深め、自然環境に対して関心を持つ豊かな心を育むことです。この調査を通じて、市内の自然環境の現状を把握してもらい、一市民としてなすべきことを考える機会を作ります。また、子どもたちには、環境学習を通して、思いやりのある人づくり繋げていくことを目的とします。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

当NPOのメンバーがインストラクターとなり「ママ下湧水」における人と自然の共生について講義を行うとともに生物の生態調査・観察会を実施しました。調査方法は、植生調査→樹種・草本共に地図上に表示。鳥類→ルッキング調査・写真撮影を主として実施。爬虫類→ルッキング調査・写真撮影・必要に応じて捕獲し個体の確認。陸生昆虫→ビーディング・シフティング・スイーピングによる採集、フライング・インターセプト・トラップ、ビートホールトラップを活用しての調査。標本作成及び写真撮影も行いました。土壌生物→ツルグレン装置にて分類調査。魚類・水生甲殻類・両生類・水生昆虫→網による捕獲調査。底生生物→コドラート・実体顕微鏡にて分類・調査。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

調査捕獲に使用するトラップは手作りのものを心掛け、特に子どもたちには、トラップの製作、設置から参加してもらいその効果を体感してもらいました。標本作成の際には、可能な限り参加者がみずから捕獲した個体を用いるよう心がけました。また、子どもたちの参加者の中から捕獲した個体を飼育したい旨の申し出がありましたので、飼育になじまない希少種や飼育不可能な種以外につきましては、具体的な飼育方法を解説し、観察記録を作成するよう指導を行いました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

当NPOが毎年行っている子どもたち対象の「くにたち自然くらぶ」の過去の参加者に今回の調査参加を呼び掛けたことで親子同伴の参加者が集まり大人向けの解説と子ども向けの解説に分けて対応を行いました。父兄の参加者からは、「国立市内で初めて昆虫採集や魚とりをした」「まだ市内にこんな自然が残されていたなんて。」という声を聞き、今回の調査を通じて市内に残された自然環境の大切さを共有することができたと思います。子どもたちには、捕獲した個体の飼育方法を説明し環境学習の一環としていただきました。ホトケドジョウなどの希少種は、乱獲してはならないことを伝えリリースし、将来この環境を維持できるよう呼びかけました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし

真如苑「Shinjoプロジェクト」助成事業

ハケと湧き水 調査隊

— ママ下湧水^{ゆうすい}で生きものを観察しよう —

講師：NPO国立市動物調査会メンバー

ママ下湧水に行ったことがありますか？

緑が連続する青柳崖線^{あおやぎがいせん}と、崖^{かき}(ハケ)下に湧き水が流れる風景が残っています。

8年前、ここに道路が通ったとき、貴重な自然を残そうと地域の方や国立市がいっしょに自然保全型公園^{ほぜんがた}を作りました。

今、ママ下湧水にはどんな生きものがすんでいるのでしょうか。鳥やチョウなど目に見えるものだけでなく、湧水の中の水生生物、土の中の土壤生物^{どじょうすいじつ}、それにかんたんな水質検査もやってみます。



第1回 7月28日(土)

午前9時～12時

第2回 9月23日(日)

午後1時30分～4時30分

集合：くにたち郷土文化館前

募集：20名

参加費：ひとり500円

(保険料など)

*その他、詳しいことは参加の皆さんに連絡します。

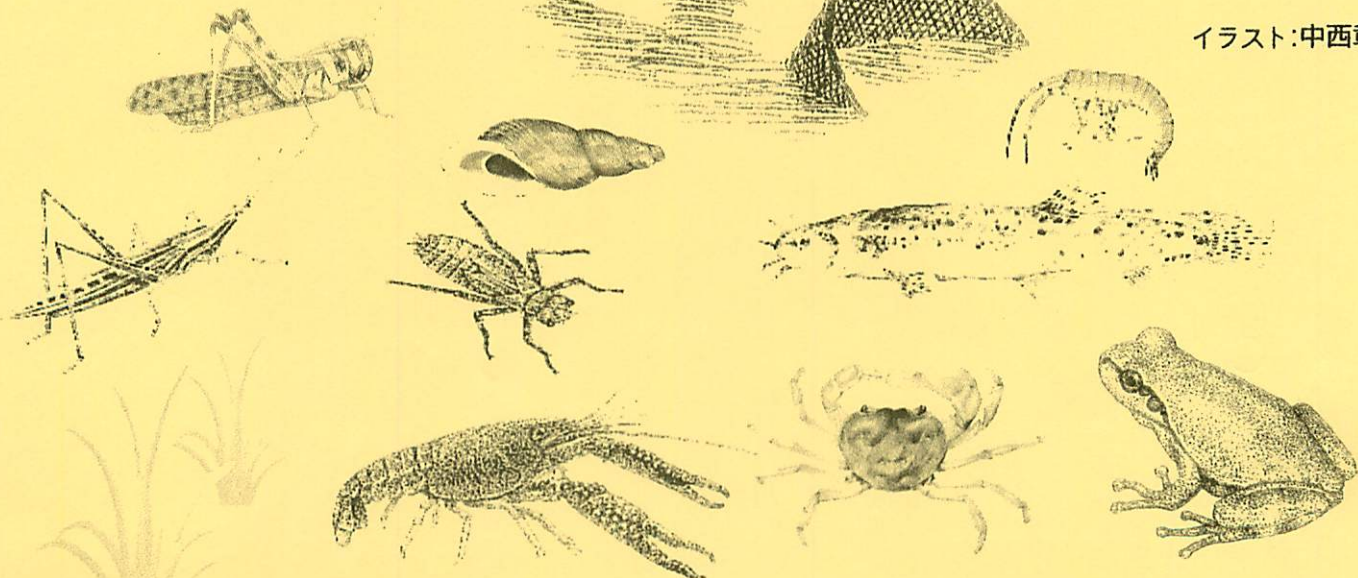
申込/問い合わせ：

7月25日までに

電話かファックスで

576-4035 佐藤

イラスト：中西章



主催：NPO国立市動物調査会